

## 印西市地域公共交通総合連携計画策定業務委託仕様書（案）

## 1. 調査の目的

本市におけるバス路線については、住民生活の身近な足としての重要な役割を担っている。

しかしながら、自家用自動車の普及等により、バス利用者は、長期的に減少傾向となっており、平成21年に市内2つのバス路線が廃止された。

住民の移動手段を確保するため、市ではコミュニティバスの運行や路線補助を行っているが、地域公共交通の活性化・維持が課題となっている。

また、平成22年3月、印西市、印旛村、本埜村が合併したことに伴い、合併後の市全域における公共交通のあり方の検討が急務となっている。

これらを踏まえ、バス等を中心とした地域公共交通の維持・活性化と充実・整備に向けた基本方針等について検討し、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「印西市地域公共交通総合連携計画」を策定する。

## 2. 業務内容

## (1) 現状把握

既存資料を基に、基礎的情報を整理する。

## ①地域特性

- ・人口（人口分布・密度、将来人口、年齢別人口）を整理する。
- ・公共施設等の配置
- ・都市計画

## ②既存公共交通の実態

公共交通事業者に対してヒアリングを行い、既存公共交通の実態や課題等を整理する。

## ③駅までの流動状況

駅までの交通手段はどうなっているのか、徒歩人口や自転車人口、バスの利用人口等を調査し、バス交通のシェアや重要性を見極める。

## ④成田スカイアクセス開業に伴う、地域公共交通に関わる状況変化を調査する。

## (2) 需要調査

地域が求めている交通サービスの形態や水準、需要等を把握するため調査を行う。

- ①バス利用者ヒアリング調査
- ②住民アンケート調査（3,000人対象郵送）

## (3) 課題の整理

地域公共交通の現状と需要調査の結果をもとに、課題や問題点とその原因を洗い

出す。

#### (4) 基本方針と目標等の検討

本市における地域公共交通の将来像とその実現に向けた基本方針及び目標等を検討する。

- ①本市全域における公共交通のあり方を検討する。
- ②地域の実情にあった公共交通のあり方を検討する。
  - ・旧印旛村と旧本埜村地区では、コミバスが廃止された経緯があるが、当地区におけるバス路線の充実や新たな交通システムの導入の可能性について検討する。
  - ・民間バス路線に加え、病院送迎バスやスクールバス等の活用や自治会運営形式のバス等について検討する。
- ③ふれあいバスの運行方針や目標を検討する。
- ④地域公共交通の活性化及び利用促進策について検討する。
- ⑤目標達成のための事業計画とその事業評価の手法について検討する。
- ⑥連携計画の策定
  - ・連携計画（素案）を作成する。
  - ・パブリックコメント実施を支援する。
  - ・連携計画を作成する。

#### (5) 協議会への支援

協議会の会議資料の作成、運営支援、議事録作成などの必要な支援を行う。

### 3. 支払い条件

本業務完了後、請求書を受理してから30日以内に代金の支払いを行う。

### 4. 成果品

- ・報告書 30部（A4横書き・左綴じ）
- ・報告書電子データ 1式
- ・その他関連資料 1式